

福島労働局発表



平成29年2月1日

担当

福島労働局 労働基準部

健康安全課長 清水 俊明

産業安全専門官 松尾 眞由美

電話024-536-4603 (直通)

「総合建設業労働災害撲滅対策会議」を開催

～総合建設業者(ゼネコン)約40社、100名が出席～

福島県内における建設業の労働災害発生状況は、別添表のとおりであり、東日本大震災前の5年間の労働災害発生状況に比べ、震災以降多発し高水準で推移している状況にあります。死亡災害は毎年10人を超え、震災前後では発生率が高くなっている状況です。平成28年の死亡災害は10人で、平成27年より減少したとはいえ、依然として高い水準にあります。

このため、福島労働局（局長 島浦幸夫）は、福島県内で建設工事を施工しているゼネコン約40社を対象として、自主的な労働災害防止活動の一層の活性化を目的として、会議を開催します。

加えて、今回の会議からは、建設業における魅力ある職場づくりの推進を目的として、取組事例の発表なども行われます。

記

日時 平成29年2月6日（月） 午後1時30分より

場所 コラッセふくしま 4階多目的ホール（福島市三河南町1-20）

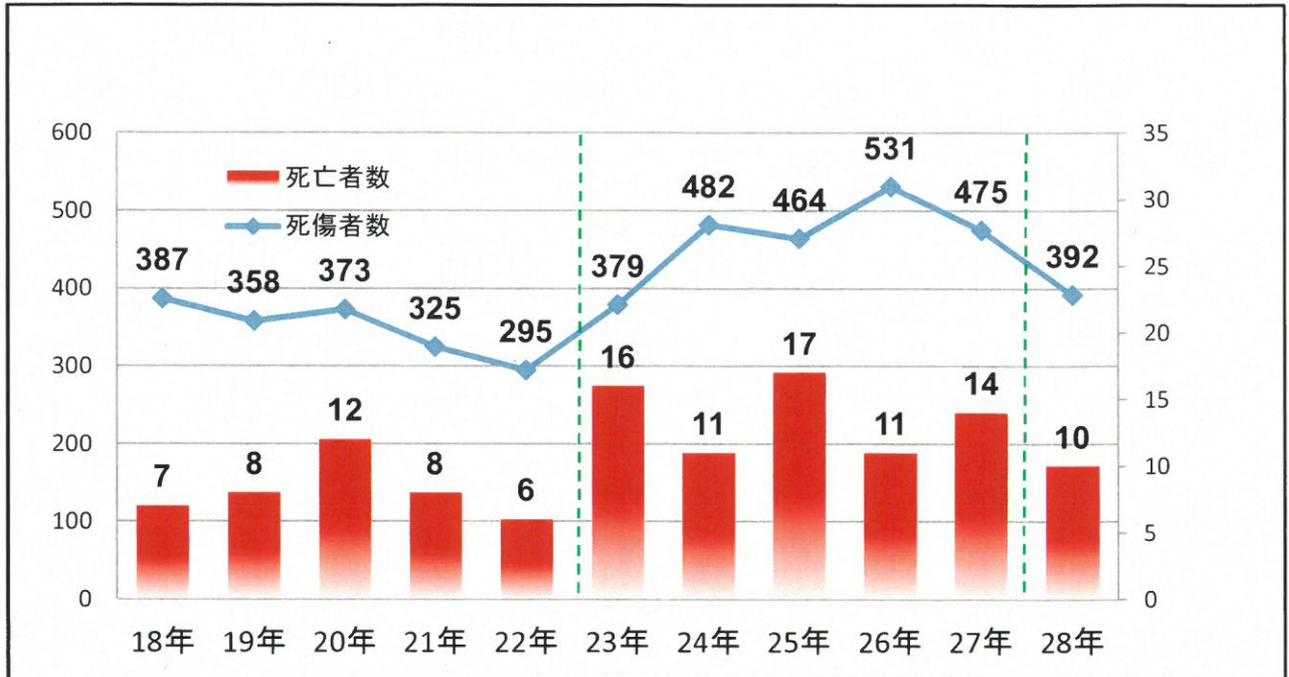
出席者 福島県内で工事を行う総合建設業者（ゼネコン）約40社100名

※各社東北支店の安全担当部長、各現場の現場責任者等が出席予定

- 議題**
- ① 労働災害発生状況及び労働災害防止対策について
 - ② 国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所における労働災害防止の取組について
 - ③ 労働災害防止と魅力ある職場づくりの取組事例発表

※ 本対策会議は、平成26年8月の「死亡労働災害多発非常事態宣言」を受け、同年9月に初めて開催して以降、今回で6回目（今年度1回目）の開催となります。

《 表 福島労働局管内の建設業の労働災害発生状況 》



※ 平成 28 年は 12 月末までの報告分